

人体の構造と機能及び疾病

問題 1 身体の標準的な成長・発達に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 成人の身長は、出生時の約5倍になる。
- 2 成人の体重は、出生時の約10倍になる。
- 3 脳の重量は、4～6歳で成人のおよそ90%を超える。
- 4 リンパ系の器官は、成人期に最も発達する。
- 5 生殖器系の器官は、出生時と思春期の2回急激に発育する。

問題 2 加齢に伴う心身の変化に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 体重から体脂肪量を差し引いた、除脂肪体重が増加する。
- 2 流動性知能は、高齢になるまで変わらない。
- 3 加齢による聴力の低下は、低い音(低周波領域)から始まる。
- 4 中重度の要介護高齢者では、低栄養を来しやすい。
- 5 加齢によっても、嚥下機能は低下しにくい。

問題 3 人体の器官の構造と機能に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 嚥下時には、喉頭蓋が開くことによって誤嚥を防止している。
- 2 大脳の後頭葉は、聴覚の中枢である。
- 3 大腸は、腸絨毛によって栄養素を効率よく吸収している。
- 4 通常、呼吸回数は、脳幹が血中の酸素濃度を感知することによって調節している。
- 5 血管、消化管、気管支には、平滑筋が分布している。

問題 4 国際生活機能分類(ICF)に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 健常者も障害者も区別なく、個別性はあっても「健康状態」という一つの概念のもとにとらえられるという考え方をしている。
- 2 機能障害、能力障害、社会的不利のように、「障害」を分類したものである。
- 3 「健康状態」に含まれる心身機能・身体構造、活動・参加に関与する因子として、「遺伝因子」を含めている。
- 4 「障害」は、「環境因子」とは無関係なものにとらえている。
- 5 症状が進行中あるいはまだ治癒していない場合を「疾患」と呼び、それが固定あるいは永続した場合を「障害」と呼んでいる。

問題 5 認知症に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 アルツハイマー型認知症では、感情失禁が特徴的な症状である。
- 2 脳血管性認知症では、まだら認知症が特徴的な症状である。
- 3 レビー小体型認知症では、幻聴が特徴的な症状である。
- 4 ピック病では、人格変化は生じにくい。
- 5 クロイツフェルト・ヤコブ病では、梅毒病原体が原因となる。

問題 6 Aさん(70歳)は、ある日、急に意識障害を生じて倒れ、救急病院に入院した。数日後、意識は回復したが、右側の片麻痺が後遺症として残った。右利きなので、日常生活に多くの不便を生じることになった。更に、発語が乏しくなり、「あー、うー」程度の言葉を発するのみとなった。発語しようとするときは、懸命でもどかしい表情になり、言いたいことがあるように見える。言葉の了解はよいようで、他者の指示に従って行動することができる。例えば、眼鏡を渡して、「これを使ってみてください」と指示すれば、眼鏡をかけることができる。咽喉の動きはよく、嚥下困難はない。舌の動きはよい。

次のうち、Aさんの症状として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 全失語
- 2 感覚性(ウェルニッケ)失語
- 3 運動性(ブローカ)失語
- 4 構音障害
- 5 健忘性失語

問題 7 次のうち、DSM-IV(精神疾患の診断・統計マニュアル第4版)に記載されている大うつ病エピソードの診断基準に該当する症状として、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 不眠又は睡眠過剰
- 2 活動における興味、喜びの著しい減退
- 3 出来事についての反復的で苦痛な夢
- 4 緊張病性の行動
- 5 強迫観念又は強迫行為